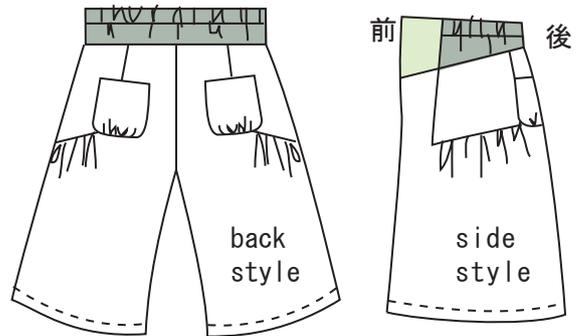
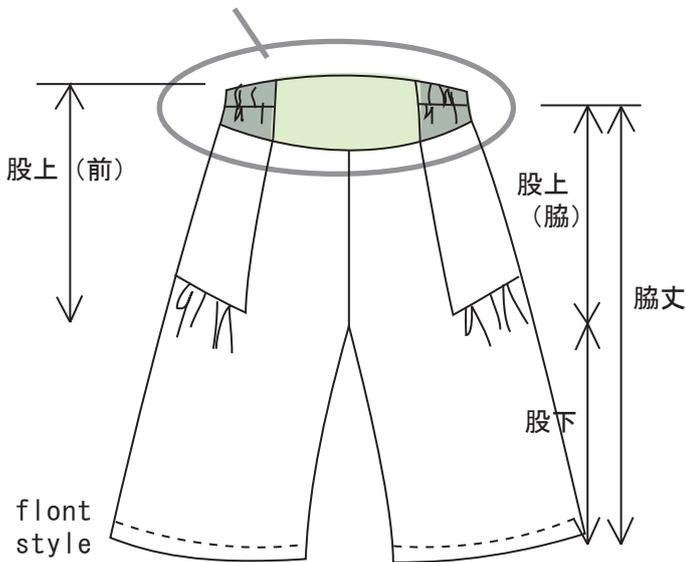


ここではこの部分のみの  
パターンと仕様の紹介になります。

■準備

- ニット素材 (■部分に使用) 0.3 cm
- 布帛素材 (■部分に使用) 0.15~0.7m (次ページ参照)
- 15mm巾のボタンホールゴム 0.7m
- 上記のゴムに合ったボタン 1個
- 接着芯または伸び止めテープ 少々(2×4cm)



このパターンは、スイートパンツの・  
パターンが別途必要になります。

先にマタニティとして作ったものは、普通のスイートパンツに戻すことが可能です。  
ただし、その逆、先に普通のスイートパンツで作ったものの、マタニティへのアレンジは  
できませんのでご注意ください。例外として「普通→マタニティ→普通」を見越し、  
きちんと縫い代をとって最初に普通のスイートパンツを作ったものについては  
マタニティへのアレンジが可能になります。ご不明な点はお問い合わせください。

寸法・材料・素材選び

お尻が入るかどうかは  
この寸法で確認してください。

■生地選びについて

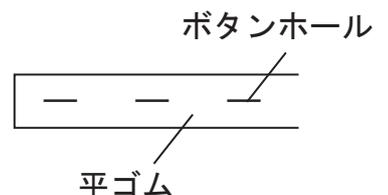
スイートパンツ本体の素材は  
スイートパンツの仕様書を  
参考にしてください。

お腹周りに使うニット部分 (■部分) はスパンフライス、スパンテレコ、リブニット  
など、必ず、**伸びるだけでなく戻りの良い素材をお使いください。**

それ以外のウエストベルト部分 (■部分) は布帛素材になります。基本的に  
スイートパンツと同素材になり、別途用尺が必要になる場合もありますが、  
スイートパンツ本体の用尺に入る場合もあります。

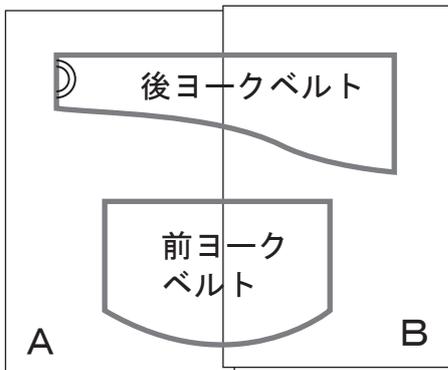
■15mm巾のボタンホールゴム

子ども服のボトムのウエスト調節用などによく見られるゴムで、  
平ゴムの中央にボタンホールがたくさん開いているものです。



サイズ	脇	股上 (前)	股上 (脇)	股下	ヒップ	お腹まわり
M	62.5cm	35.6cm	27.9cm	34.6cm	97.7cm~	~95.2cm
L	65.7cm	36.6cm	29.0cm	36.7cm	102.4cm~	~98.6cm

ベルトパターンの貼り合わせ



■後ヨークベルトの地の目と用尺について



ヨコ地の目でとる場合  
0.7m 必要になります。

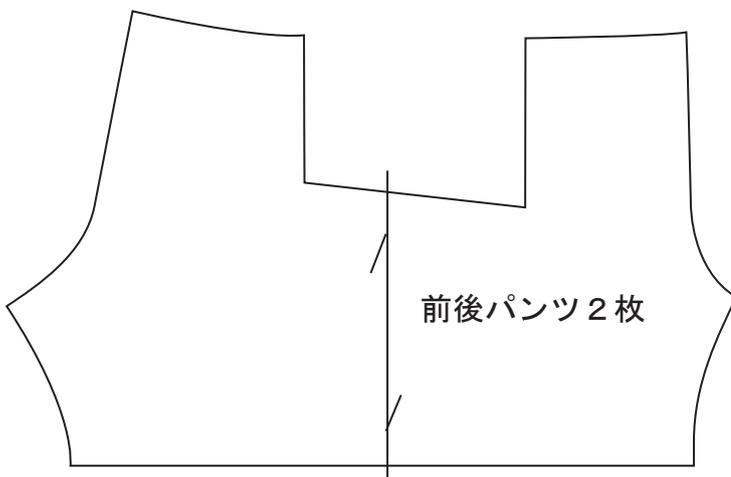


タテ地の目でとる場合  
0.15m 必要になります。

ちなみに後ろヨーク部分の地の目（生地の方角）は縦横どちらでもかまいません。型紙の置き方で、スイートパンツ本体の用尺内に入ることもあります。

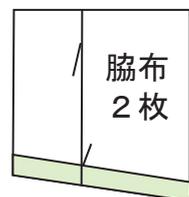
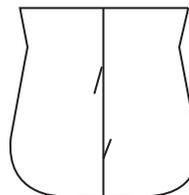
裁断パーツと枚数について

裁断パーツは（マタニティ仕様の場合）5種類裁断の合計枚数は全部で8枚になります。



の切り替え部分に芯を貼ります

ポケット2枚



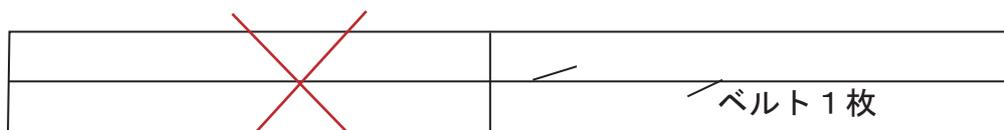
脇布  
2枚

わだち

後ヨークベルト1枚

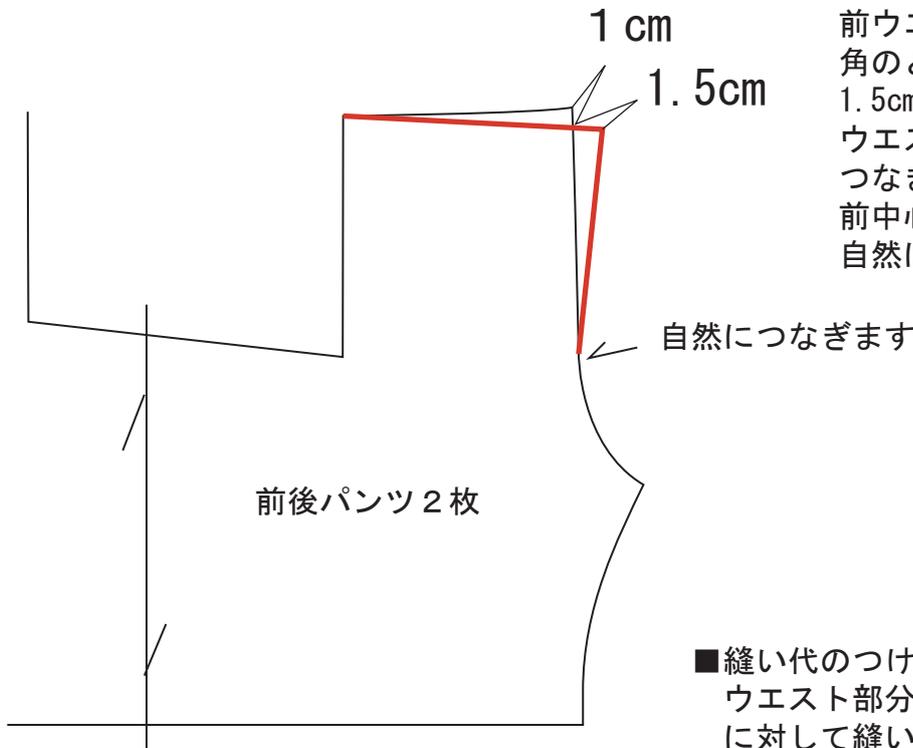
後ヨークベルトのボタンホールに貼る芯は後ほど仕様書で説明します。

前ヨーク  
ベルト1枚



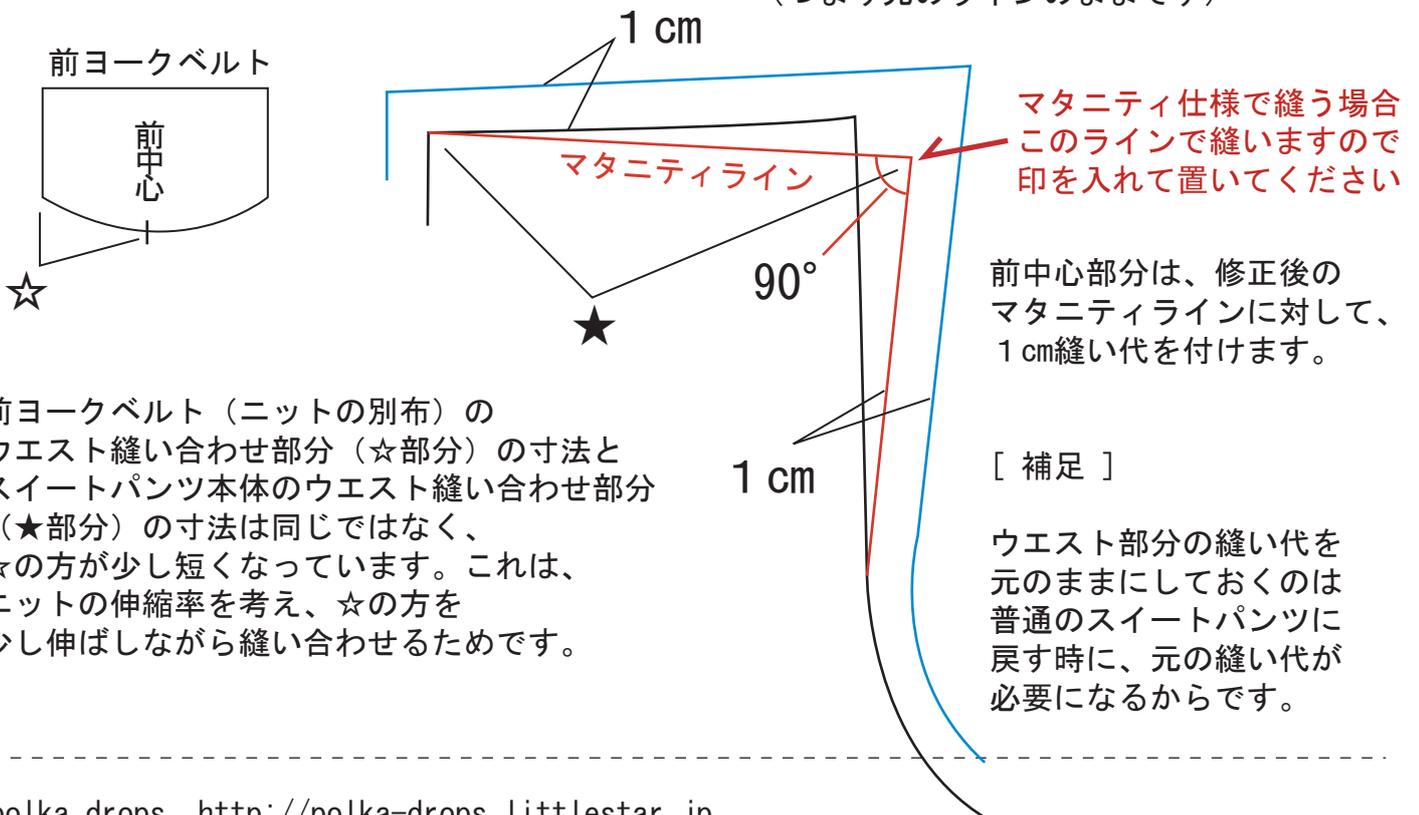
スイートパンツのパターンにもともと入っているベルトは、マタニティでは使いません。

パターンの補正方法



スイートパンツの前中心前ウエスト部分を補正します。角のところ、1 cm下がり、1.5cm右へ出たところに点を取り、ウエストと、前中心線をつなぎ直します。前中心線は股ぐりのラインに自然につながるようにします。

■縫い代のつけ方について  
ウエスト部分はマタニティ修正前のラインに対して縫い代を1 cm付けます。(つまり元のラインのままです)



前中心部分は、修正後のマタニティラインに対して、1 cm縫い代を付けます。

[ 補足 ]

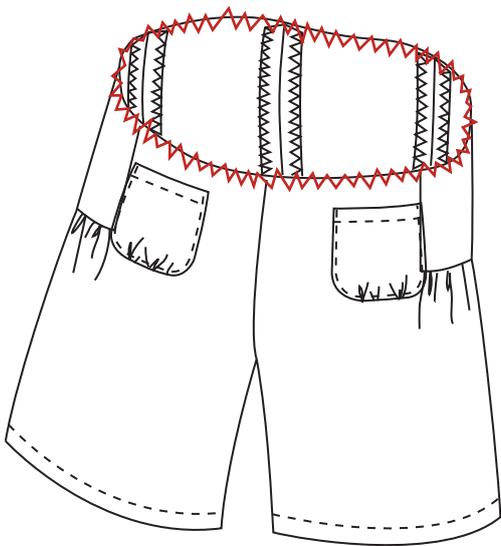
ウエスト部分の縫い代を元のままにしておくのは普通のスイートパンツに戻す時に、元の縫い代が必要になるからです。

前ヨークベルト（ニットの別布）のウエスト縫い合わせ部分（☆部分）の寸法とスイートパンツ本体のウエスト縫い合わせ部分（★部分）の寸法は同じではなく、☆の方が少し短くなっています。これは、ニットの伸縮率を考え、☆の方を少し伸ばしながら縫い合わせるためです。

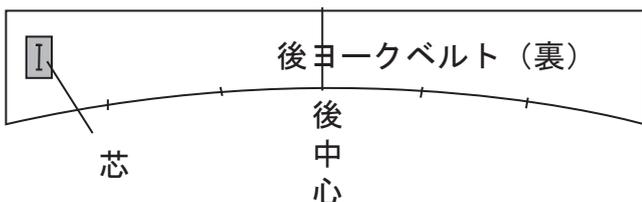
マタニティ縫製方法

スイートパンツ本体を、仕様書⑦まで作ります。  
（ベルトつけ手前まで）  
ただし、前中心は修正したラインで縫うこと。

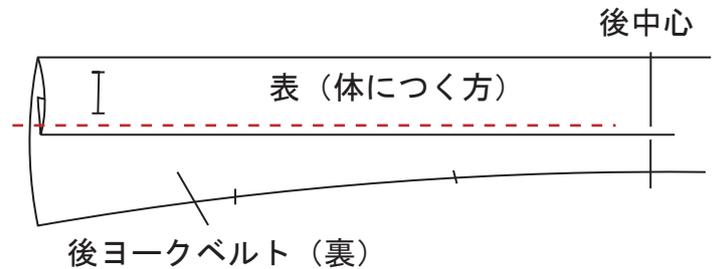
- 1、スイートパンツ本体のウエストラインをロック（ジグザグ）始末します。  
産後、普通のスイートパンツに戻す際、普通のベルトをつける工程で、生地端がほつれると縫いづらくなるため、この処理をしておきます。



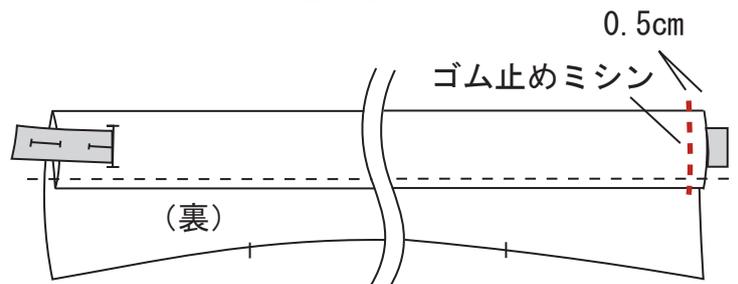
- 2、後ヨークベルトのゴム通し口に芯を貼りボタンホールをあけます。



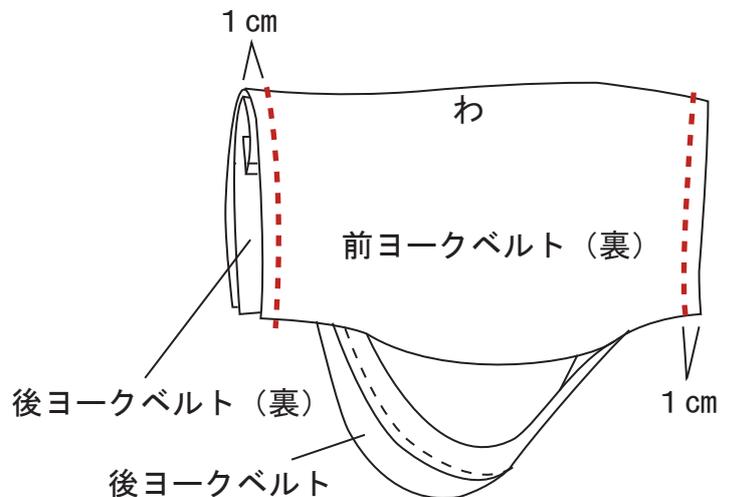
- 3、ウエストゴム通し部分を三つ折りステッチ始末します。



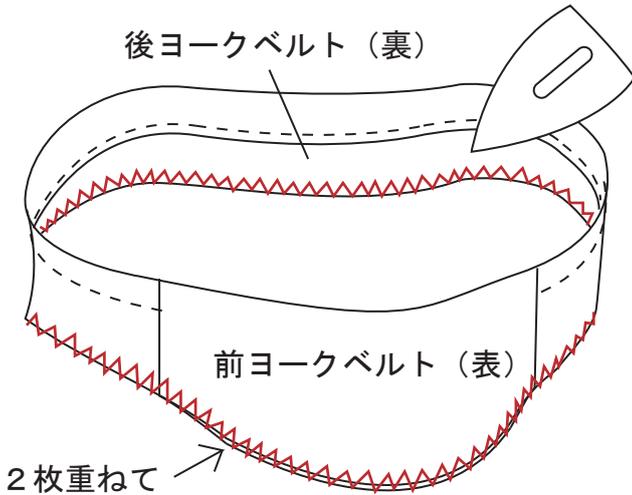
- 4、左脇からボタンホールゴムを通し、2で開けたボタンホールから通します。左脇に、ゴムを止めるための止めミシンをします。



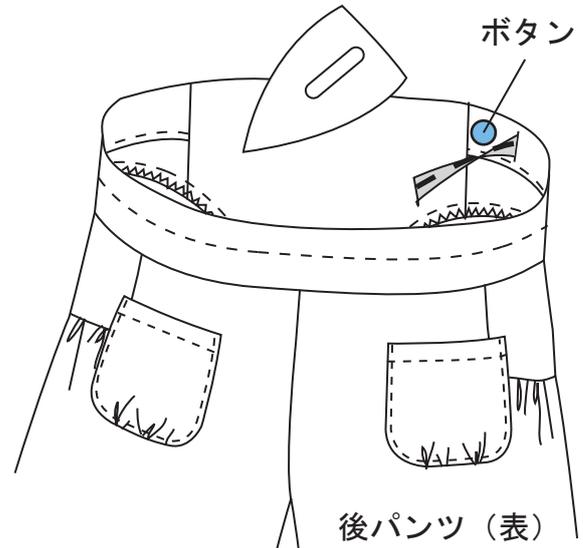
- 5、前ヨークベルトを中表に2つ折りにし、そこに後ヨークベルトを挟み込むようにし、脇を中縫いします。



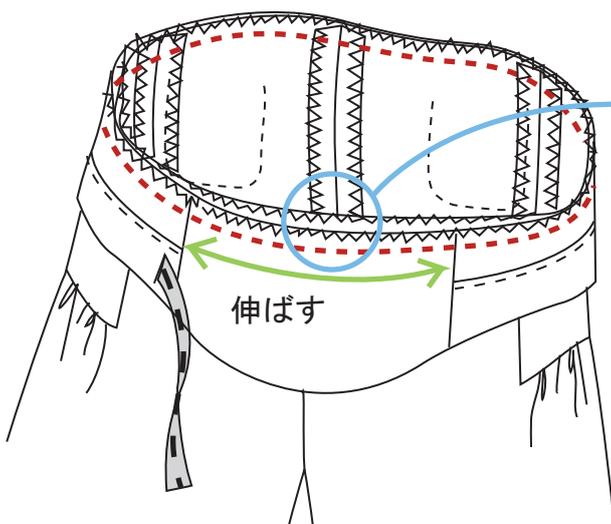
- 6、5で作ったものを裏返すと、下のよう  
な状態になりますので、アイロンで整え、  
ベルト下部分をぐるりとロック（ジグザグ）  
で処理します。前ヨークベルト下部分は  
2枚になりますが、重ねてロックします。



- 8、表に返してアイロンで整えます。  
ベルト裏、右前脇のボタン付け位置に  
ボタンを付けます。

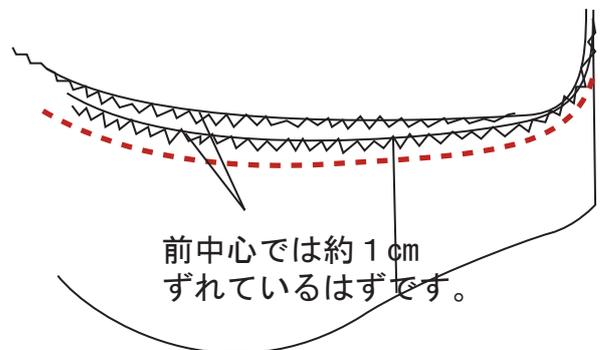


- 7、パンツとベルトを中表に合わせ、  
ウエストラインを縫い合わせます。  
前ヨークベルト部分（←→部分）は  
ベルト部分の方があえて短いの  
で伸ばしながら縫います。

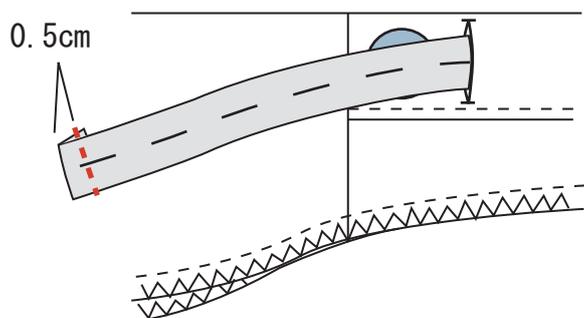


**注意！**

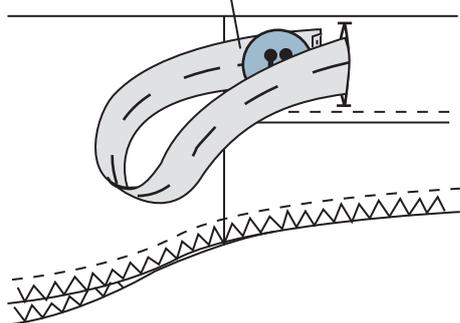
前ウエスト部分は、パンツ側の縫い代巾が  
ベルトの縫い代巾よりも広くなります。  
（普通のスイートパンツに戻す時のため）  
出来上がり線で合わせると縫い代が  
ずれますが、この状態で縫ってください。  
（必ず出来上がりの線で縫うこと）



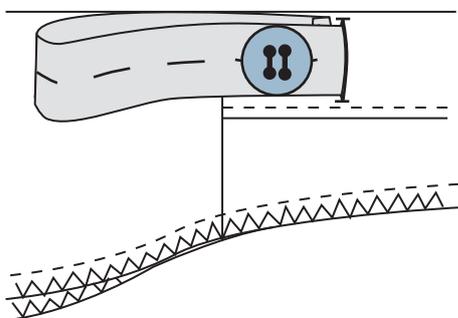
- 9、ボタンホールから出ているゴムの端を0.5cmほど折り返して縫い止めます。



- 10、最初にゴム端のボタンホールにボタンをかけます。

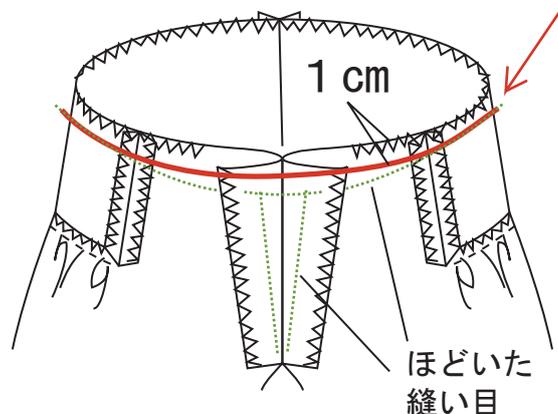
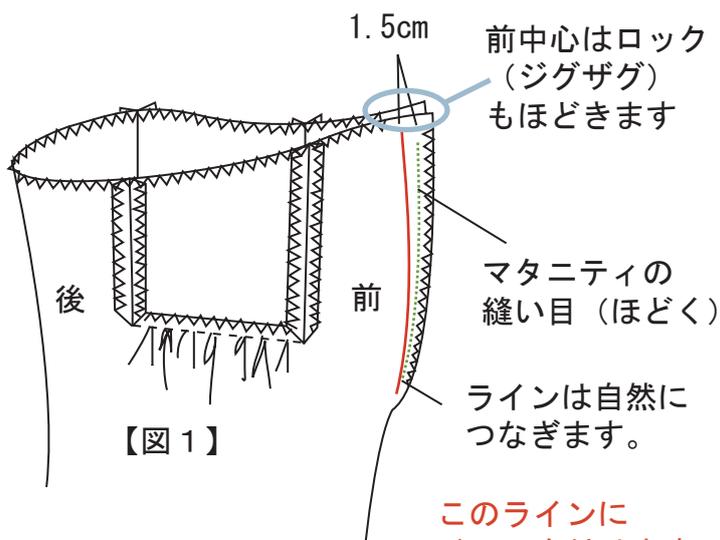


- 11、ゴムを縮めて調節し、ちょうど良い所にボタンをはめて完成です。



産後、ノーマルな  
スイートパンツに戻す方法

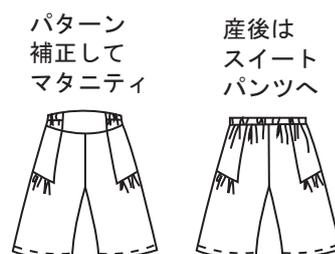
- 1、まずヨークベルトを本体からはずします。前中心はロック（ジグザグ）もはずします。はずしないと、前中心を縫い直す際に縫い代が割れなくなります。
- 2、前中心（股ぐり部分）を縫い直します。
- 3、パターンについているベルトパターンでベルトを作り、パンツ本体につけます。（スイートパンツ仕様書⑨参照）



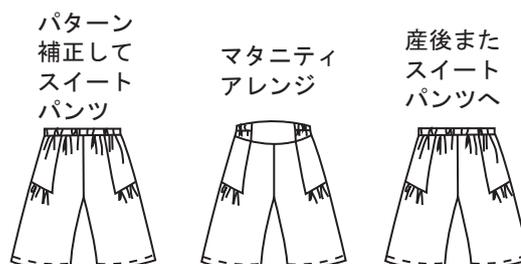
## sweet pants maternity arrange

スイートパンツをマタニティへアレンジできます。  
マタニティとして作ったものを、産後普通のスイートパンツに戻して  
ずっと使うことができる、守備範囲の広い補正方法です。  
以下の点を注意して、仕様書を最後までよく読んでから製作ください。

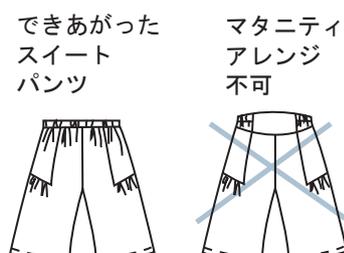
これからマタニティを作りたい。  
そして、産後も普通に使いたい人は、  
スイートパンツのパターンを  
マタニティに補正して、マタニティ製作。  
産後、縫い直して普通のスイートパンツに。



これから普通のスイートパンツを縫いたい。  
でも妊娠した時、マタニティにアレンジ  
できるようにしておきたい人は、  
パターンをマタニティに補正した状態で、  
普通のスイートパンツのベルトを付けます。  
こうしておけば産後までずっと使えます。



すでに普通のスイートパンツを作製済みの場合  
出来上がったスイートパンツを  
マタニティへアレンジすることはできません。



追記になりますが、写真でご紹介しているマタニティ仕様のスイートパンツは  
パンツ巾を広くし、丈を伸ばすという、別のアレンジが入っております。  
写真のように作りたい場合は、そちらのアレンジも必要になります。（別途記載）  
ここでは従来のスイートパンツを、丈やパンツ巾のアレンジせず、マタニティへ  
アレンジする方法をご紹介します。  
ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。